



一期一会の出会いに感謝

—かけがえのない思い出に—

ついに来た、惜別のとき
 この町でともに過ごした数日間。試合を終えた選手団と、民泊協力会との間に、ついに別れのときがやってきました。それぞれの協力会では、選手団が立つ前日や当日に、送別会が行われました。

選手団との残された時間を惜しむかのように、各協力会で創意工夫された送別会。特に多く見られたのは、選手らを受け入れていた家庭と、実際に宿泊していた選手らとが、互いに言葉を交わす場面でした。協力会の人からは、「あなたたちは娘や孫同然。いつでも帰っておいで」

